

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 2 年度第 2 回 小金井市地下水保全会議
事 務 局	環境部環境政策課環境係
開 催 日 時	平成 2 2 年 1 1 月 3 0 日(火) 午後 15 : 00~17 : 00
開 催 場 所	小金井市役所前原暫定集会施設 B 会議室
出 席 者	別紙のとおり
傍 聴 の 可 否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍 聴 者 数	0 名
会 議 次 第	1 開会 2 議題 (1) 前回の会議録の確認について(資料 1) (2) ボーリング調査データについて(資料 2) (3) 井戸データ(資料 3) (4) その他(追加資料) 3 次回の地下水保全会議の日程について
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料は、情報公開コーナー、図書館、議会図書室にある議事録に添付してあります。
そ の 他	

平成22年度第2回 小金井市地下水保全会議

議事録

日 時：平成22年11月30日（火）15：00～17：00

会 場：小金井市前原暫定集会施設B会議室

■ 出席者

(委員)	小倉 紀雄	会長	山田 啓一	副会長
	齊藤 祐磁	委員		
(欠席)	土屋 十囀	委員	風間 ふたば	委員
(事務局)	環境部	深澤部長	環境政策課	石原課長
	環境係	町田係長	環境係	立川主任
	環境係	吉崎副主査	環境係	板本
(傍聴者)	0名			

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 前回の会議録の確認について（資料1）
 - (2) ボーリング調査データについて（資料2）
 - (3) 井戸データ（資料3）
 - (4) その他（追加資料）
- 3 次回の地下水保全会議の日程について

■ 審議経過（議事録）

- 1 開会

小 倉 会 長： ただ今より開会します。

- 2 議題

- (1) 前回の会議録について

小 倉 会 長： 前回の会議録ですが、確認していただいて何かありましたら事務局へ連絡するということによろしいでしょうか。

山 田 副会長： せっかく作成していただいているので、できれば事前にいただけると良いかと思います。何を話したか確認できますので。

小 倉 会 長： そうですね。次回からはそうしていただくといいですね。

石 原 課 長： はい、今回は作成が遅れてしまい申し訳ありませんでした。

(2) ボーリング調査データについて

- 小倉 会長： それでは事務局から説明をお願いします。
- 立川 主任： 資料2の1件目について説明を行った。(説明内容省略)
- 山田 副会長： この地質想定断面図の縦軸の標高というのは、プラスのことでしょうか。
- 立川 主任： そうですね。
- 山田 副会長： 小金井に10メートルというところは無いと思うのですが。
- 立川 主任： そうですね。地表面という事だと思いますが、何が基準になっているのかわかりません。
- 山田 副会長： この一番上が地表面ということなのですね。
- 立川 主任： そうですね。
- 小倉 会長： ボーリング柱状図も、一番上が0ですね。
- 立川 主任： このあたりの標高は、TPで65メートル前後だと思いますが、それを0という書き方をしていますね。
- 山田 副会長： 10ですね。
- 立川 主任： そうですね、10です。
- 山田 副会長： 杭の直径は書いてありますか。
- 立川 主任： A3用紙の2枚目に、杭径が書いてありますね。1600から1900とあります。アースドリル拡底工法とありますが、太いものなのでしょうか。
- 山田 副会長： はい。ねじ込み式ですね。
- 立川 主任： このあたりは、東へ流れている場所でしょうか。
- 山田 副会長： そうですね。仙川に沿って、三鷹のほうに流れるのだらうと思います。
- 小倉 会長： 線路の北側になりますし、国分寺崖線の方には直接影響は無いところでしょうか。
- 山田 副会長： そうだと思います。
- 小倉 会長： 標高の表示がわかりにくいので、確かめていただいたほうがいいですね。
- 立川 主任： はい。
- 小倉 会長： 二棟のうちB棟のほうは、杭がありませんが低層なのですか。
- 立川 主任： そちらは、3階建てくらいで基礎杭になると思います。
- 小倉 会長： それでは、位置的に崖線には直接影響は無いということによろしいでしょうか。
- 立川 主任： 資料2の2件目について説明を行った。(説明内容省略)
杭は6本入るという事です。アースドリル工法とありますので、ねじ込み式になりますか。
- 山田 副会長： そうですね。
このような書類は、開発面積にかかわらずに提出されるのですか。
- 石原 課長： 面積というより高さですね。中高層建築ということで開発審査会にかかった物件になります。
- 山田 副会長： なるほど、そうですか。
- 小倉 会長： 8階建てということですが、まわりもそれくらいの高さですか。

あ、7階とか9階と書いてありますね。

立川主任： 駅前の密集地になりますから、隙間に建つようなかんじでしょうか。もちろん、降った雨は全部浸透させるということです。

以前にもお話しましたが、中央線のほうの雨も入るということで、コンクリート化されるよりは、多少いいのではないかと思います。

小倉会長： ここには、いままでもビルか何かあったのですか。

吉崎副主査： 店舗兼住居がありました。

小倉会長： 低層ですね。

吉崎副主査： はい。

立川主任： 敷地面積は40坪くらいですが、駅前なので狭い敷地でもビルを建てますね。

雨水は浸透させるようお願いしています。

小倉会長： そうですね。

立川主任： 狭い場所に杭をたくさん入れると、みず道をふさぐという事はあるのでしょうか。

小倉会長： 規模が小さいですし、大きい建物の間ですから影響は無いと思います。

崖線のほうへの影響も無いと判断します。

あとは、先ほどの標高の確認をお願いします。

(3) 井戸データ

小倉会長： それでは、井戸データの説明をお願いします。

立川主任： 資料3について説明を行った。(説明内容省略)

山田副会長： 井戸が問題になっているというのはどういったことですか。

立川主任： 問題になっているというか、地盤沈下の関係だと思いますが、一般的な井戸であれば、いくらでも汲み上げていいというのではなく、揚水量が規制されたりということです。

山田副会長： 揚水規制ということで、東京都全体の事と一緒にですね。

立川主任： はい。

小倉会長： これは、掘り替えですか。

立川主任： いえ、あったところですが、古くなったので、新しいものを一つずつ入れなおしました。

山田副会長： これは、所有権はどこですか。東京都の水道局でやったのですか。

石原課長： はい、東京都です。工事は小金井市の水道課でやりました。

小倉会長： このデータは昭和37年のものですか。

立川主任： いえ、今回調べたものです。

石原課長： これで、現在最適と思われるところに入れたということです。

小倉会長： そうですか。

山田副会長： 以前に東京都でもやっていたように、小金井市でもこういった情報を集めて、湧水に係る帯水層などを推定する作業を、チームを作ってやっていたといいですね。

小倉 会長： こういったデータをつなげていくということですね。

山田 副会長： はい。

小倉 会長： 大変な仕事でしょうけれど、地下水を見るには重要なまとめでしょうね。たくさんのボーリングデータがあるので有効利用したいですね。国分寺崖線の湧水に関わることですので。

山田 副会長： どれが連続しているかなどの判断は難しいですね。

小倉 会長： やる人の事など、市ではなかなか難しいでしょうね。

立川 主任： 標高にも影響するのでしょうか。でっこみひっこみのようなものというか。

山田 副会長： 地表面のですか。ありうるでしょうね。あと、大きな地形は関係ありませんが、小さなものはどうでしょうか。

立川 主任： 地層の中にも山があるという話ですね。

山田 副会長： そうですね。みなさんがデータを調べていると、でこぼこに気が付くというか、気になるという感じです。そのでこぼこが、具体的にどういう影響を与えているかというのは、なかなかはっきりした結論が出にくいのですが、関係があるのではないかと思われています。

小倉 会長： ボーリングデータがあれば、それをつなげていくということと、井戸の水位などで、その山が見えてくるのでしょうか。

山田 副会長： そうですね。湧水の出口の関係などもそうですね。

小倉 会長： 水みちが違う地下水が混ざって出てくるということもあるでしょう。

山田 副会長： 最近、市民のかたから、T邸の水が少なくなっていると聞きました。

小倉 会長： 市のほうでは、そういった情報はありますか。

立川 主任： 他のところが少なくなってきたという情報はいただいています、T邸には入れませんので、見ることはできませんのでわかりませんでした。

小倉 会長： そうですか。

(4) その他

小倉 会長： その他ということですが、何かありますか。

立川 主任： 追加資料について説明を行った。(説明内容省略)

山田 副会長： 水量は三角堰から出しているのですか。

立川 主任： いえ、計測器がついていて、それで測ったものを毎日いただいているようです。

小倉 会長： ミリメートルというのは高さですか。水のあつさでしょうか。

山田 副会長： 水温というのはどこで測っているのですか。

立川 主任： 湧水の湧いているところです。

山田 副会長： 継続してやっているのですか。

立川 主任： はい。ずっとやっています。

山田 副会長： いいデータなので、見させていただいて、また質問します。

小倉 会長： 水量のミリメートルというのは何なのでしょう。

立川 主任： あとで、確認します。

山田 副会長： これはどこが担当されているのですか。
立川 主任： 緑と公園係のほうで担当しています。
山田 副会長： どういった目的でやっているのでしょうか。
石原 課長： 滄浪泉園を小金井市が管理することになったときに、測定機器なども備えましたので、それからずっと記録しているようです。
山田 副会長： 平成18年からですか。それとももっと前からですか。
石原 課長： もっと前からですが、データに打ちかえるのに可能な分を今日お出ししたものです。生データはもっと古いものがあります。
山田 副会長： そうですか。では、あとでまた見せてください。
これは公園管理に付随してやっているということですね。
石原 課長： そうです。
小倉 会長： 1日4回測っているということですが、まとめるとまた、面白いデータになりそうですね。

3 次回の地下水保全会議の日程について

小倉 会長： 次回の日程ですが、また連絡をいただけるのでしょうか。
石原 課長： 今年度はもう一度ありますので、ボーリングデータの提出などを待ちたいと思いますので、2月頃を予定したいと思います。
小倉 会長： 2月頃というと、大学のほうが忙しいですか。3月のほうがいいですか。
石原 課長： では、幅をとって調整したいと思います。
小倉 会長： 3月の中頃あたりがいいでしょうか。
石原 課長： わかりました。
小倉 会長： では、これで閉会します。